

2020年度 オホーツク地区FAリーグ

【新型コロナウイルス感染症の対応】

【1】チームおよび審判員全員に求められること

- (1) 無理な来場は、勇気をもって、見合わせる
 - ・ 体調がよくない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合（同）
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 握手、抱擁などは行わない
- (3) 社会的距離（できるだけできるだけ2m、最低1m）を確保する
- (4) マスクを着用する（アップ中またはプレー中を除く）
- (5) 手洗い、手指消毒をこまめに行う
- (6) グラウンドでの唾・痰吐き、うがい等は、飛沫が飛び感染の原因になる。絶対にやめる
- (7) タオルの共用はしない
- (8) 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てない

【2】健康チェックシートの提出

- (1) 参加チームは「感染対策担当者」を設置し、事前、試合日、事後に相互に連絡を取り合えるようにする
- (2) 全員の健康チェックシート（別紙）を作成し、メンバー用紙と同時に提出する
- (3) 37.5℃以上の者がいた場合、次のように処置する
 - ・ タクシー等で、自宅または宿舎に送り出す
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の疑い症状がある場合、保健所などに相談のうえ、診療・検査等の適切な処置を行う
 - ・ 疑い症状がない場合、適切に経過観察する

【3】ピッチ上・ウォームアップ会場でのウォームアップ

- (1) 選手、コーチングスタッフは、マスクをしなくてよい
- (2) 審判員はマスクをしなくてよい

【4】試合開始前の、審判団による選手チェックおよび用具チェック

- (1) 各チームのベンチ前で副審が実施。副審はマスクを着用。その後、所定の場所に整列する
- (2) 入場はW杯方式とするが、挨拶後の握手は行わない。但し、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つこととする
- (3) リスペクト旗、協会旗は行わない
- (4) 握手セレモニー、ペナント交換などのセレモニー等は行わない
- (5) コイントスは主審および両チームのキャプテンにより実施する。但し、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つこととする
- (6) ピッチ上で円陣を組む場合は、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つこと

【5】 チームベンチ

- (1) 社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保って座る。固定座席の場合は、1席空けて座る
- (2) 入り切らない場合は、ベンチを増やして対応。または、主審および両チームで事前に合意した場所で待機
- (3) ベンチの選手およびチームスタッフは、マスクを着用する。但し、テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい
- (4) 不要な会話・接触は控える

【6】 試合中の飲水

- (1) 飲水ボトルの共用を避ける
・たとえ口が直接触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性はある
- (2) 氷水にスポンジを入れて体を冷やすことは、体を冷やすだけであれば容認される。スポンジで顔を拭うことは行わない
- (3) 選手が口を付けフタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは、ぜったいに避ける
- (4) 選手の飲水する機会を保证するため、前後半各1回の飲水タイム（30秒から1分間程度）を設ける

【7】 ゴールセレブレーション

- (1) 社会的な距離（できるだけ2m、最低1m）を保って実施する
- (2) 握手・ハイタッチ・抱擁などはしない

【8】 試合終了時のセレモニー

- (1) 両チームと審判団がピッチ中央に一列に集まり、ベンチおよび観客席に挨拶をする。握手は行わない。但し、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つこととする
- (2) 相手チームベンチへの挨拶はせず、自チームベンチへ戻ること。

【9】 観客・応援団へのお願い

- (1) 会場ではマスクを着用してください。熱中症対策でマスクを外す場合は、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）、咳エチケットに十分配慮ください
- (2) 会場でのマスクの配布はございませんので、各自ご準備ください
- (3) 会場では社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保するようにしてください（入退場時、トイレの列など）
- (4) 手洗い、手指消毒をこまめに行うようにしてください
- (5) 観戦時は、舗装面で観戦し、芝生や人工芝のところには入らないようにしてください。
- (6) 会場の外でも、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保することはもとより、大声での発声、歌唱や声援、密集等の感染リスクのある行動を回避してください
- (7) 以下の行為は禁止とさせていただきます
 - ・ 応援を扇動する
 - ・ 歌を歌うなど、声を出しての応援、指笛
 - ・ 手拍子
 - ・ タオルマフラー、大旗含むフラッグなどを“振る”もしくは“回す”
 - ・ トラメガを含むメガホンの使用
 - ・ 太鼓等の鳴り物
 - ・ ハイタッチ、肩組み
 - ・ ビッグフラッグ ※ただし、観客がいない席に掲出する場合は認められます

【試合前にチームスタッフが選手への伝達事項】＊必ず行うこと

- ① 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ② 両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ③ 円陣を組む場合は、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）を保つこと
- ④ 倒れた選手に手を貸さない
- ⑤ 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ⑥ ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- ⑦ 口に含んだ水を吐かない
- ⑧ ボトルの共用を避ける
- ⑨ 水・氷を溜めたクーラーボックスを共用しない。
- ⑩ タオルを共有しない
- ⑪ ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ⑫ ベンチではマスクを着用し、会話を控える

参考資料

Jリーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン（6月12日版）

JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン（第2版 6月12日）

HKFA 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン（7月6日版）